

第2回「環境首都あいちの地球温暖化対策（平成29年9月11日開催）」の主な御提言に係る県の対応

主な御提言（要旨）	県の対応
<p>西三河、東三河にはまだ間伐できていない場所があり、もっと取組を進めなければと感じる。直接的な環境啓発活動の実施以外にも、県民の意識を上げる活動ができるのではないかと考えている。</p> <p>放置竹林を整備すれば、CO2の削減に寄与できると考えている。</p>	<p>・県内の森林、里山林、都市の緑の適正な整備や保全を行うために設置した「あいち森と緑づくり基金」を財源に、平成21年度から10年計画で「あいち森と緑づくり事業」を実施しています。</p> <p>・「あいち森と緑づくり事業」では、間伐や放置竹林の整備を行っているほか、NPOやボランティア団体、市町村等が行う森と緑の保全活動や環境学習を支援し、県民の環境意識の向上に取り組んでいます。</p>
<p>国が展開している「クールチョイス運動」は、県からの発信が少ないように感じる。国と県とで統一感がある方が発信力も高まり、県民の理解も深まるのではないかと。</p>	<p>・国の「クールチョイス運動」と連動した県民運動の展開を「あいち地球温暖化防止戦略2030（平成30年2月策定）」に位置付け、県民の地球温暖化防止に関する意識の向上と、エコライフの実践を呼びかけていきます。</p>
<p>県として、環境分野で熱心に活動する団体の取組を広く発信していけば、ボランティア活動にも参加しやすくなるのではないかと。</p>	<p>・先駆的で効果的な技術・事業や活動・教育の事例を企業や団体から募集し、優れた事例を表彰する「愛知環境賞」を、環境パートナーシップ・クラブ（「EPOC」）と共同で実施しています。</p> <p>・毎年6月の環境月間に合わせ、身近な自然の保護や観察会の実施など、快適な地域環境づくりのための普及啓発活動や実践活動等を長年にわたり推進してきた団体等の功績を顕彰する「環境保全関係功労者表彰」を実施しています。</p>
<p>熱の直接利用は効率がよく、産業利用における廃熱利用は非常に需要が多い。</p> <p>愛知県は工場排熱が非常に多く、また電力需要が多いという特性もあり、未利用エネルギーの活用に適しているのではないかと。</p>	<p>・温室効果ガスの排出を低減する緩和策として、「あいち地球温暖化防止戦略2030（平成30年2月策定）」に再生可能エネルギー等の利活用の促進を位置付け、太陽エネルギーの有効活用、バイオマスや工場排熱など未利用熱の利活用促進に取り組んでいきます。</p> <p>・産学行政による「愛知県新エネルギー産業協議会」を設置し、未利用のエネルギーを含む、新たな技術開発に向けたプロジェクトの形成や情報発信を進めています。</p> <p>・再生可能エネルギーのうち新エネルギー分野の関連技術の実用化を促す研究開発拠点として、「知の拠点あいち」内に「新エネルギー実証研究エリア」を整備し、実証研究の場を無償で提供することで企業等の取組を支援しており、現在、4者が実証研究を行っています。平成30年1月には実証研究の成果第1号としてバイオメタンを利用した発電・熱利用システムの公開実演を行いました。</p>
<p>環境イベントには行く人、行かない人がいるため、授業や遠足など、子どもたちが皆で一緒に環境について学べる機会をつくるのが大切ではないかと。</p> <p>啓発活動は子どもをターゲットにすると、家庭に持ち帰って話題とすることなどにより、広くアプローチできる。</p> <p>今は子どもから社会人まで、世代ごとに環境について学ぶ機会があるが、これを続けていくことが大事だと思う。</p> <p>「楽しい」ということは一番のポイントで、楽しい体験が意識せずにCO2の削減につながる仕組みが必要。楽しい政策をどんどん出して欲しい。</p>	<p>・地球温暖化防止活動推進員による小学生向け出前講座「ストップ温暖化教室」を実施しています。</p> <p>・小・中学校では、「あいち環境学習ハンドブック」や「環境教育協働授業づくりハンドブック」などを活用し、事業者やNPO等との連携・協働活動を取り入れ、学校の中だけではできない体験をしたり、環境問題と自分の暮らしが深く関わっているという実感が得られる授業を行っています。</p> <p>・現在建替え中の環境調査センターを社会見学などの学校行事で環境学習の場として活用できるよう、展示内容について検討していきます。</p> <p>・世代に応じた環境学習の場として、幼児向けの「インタープリター自然体感推進事業」や小学生向け「もりの学舎（まなびや）キッズクラブ」のほか、高校生を対象とした「あいちの未来クリエイト部」、大学生を対象とした「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」、社会人を対象とした「あいち環境塾」などを実施しています。</p> <p>・平成30年度からは、中高年・シニア世代を環境学習の講師として養成するとともに、養成した講師による講座を実施していきます。</p> <p>・エコアクションについて理解を深めることができるイベント「Let's エコアクション in AICHI」や、県内の環境学習施設が連携して実施するスタンプラリーのほか、エコアクションを学び、広げるポータルサイト「エコリンクあいち」の運営など、楽しみながら取り組める環境学習の機会を提供しています。</p>